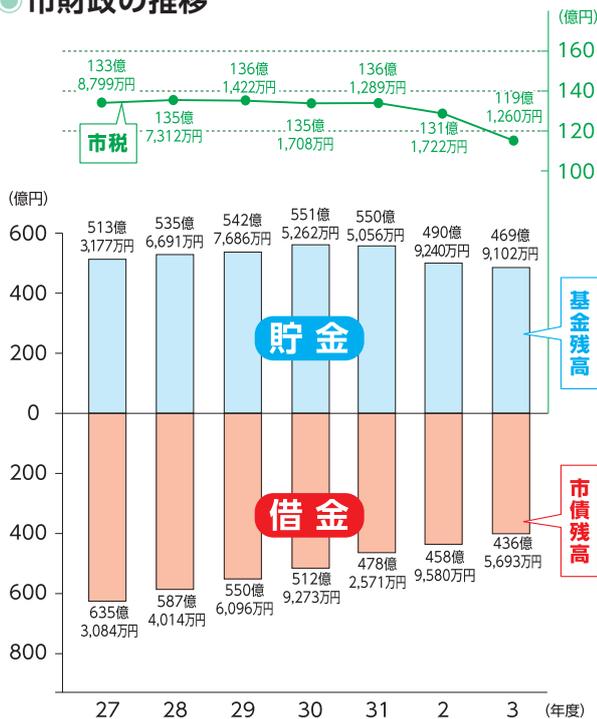


## 市財政の推移



※27～31年度は決算ベース、令和2年度は3月補正後の予算ベース、令和3年度は当初予算案ベース。(基金残高、市債残高は年度末数値)  
 ※基金残高には、各年度における出納整理期間に積立および取崩しを行った金額を含む。

## 用語の解説

- 歳入・歳出** 地方公共団体のその会計年度の一切の収入を歳入、支出を歳出と呼んでいます。
- 自主財源** 地方公共団体が自らの手で徴収、収納できる財源。地方税、使用料、寄附金などがあります。
- 依存財源** 収入にあたって国や都道府県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。
- 地方交付税** 市町村間の財政力の不均衡をなくし、一定の住民サービスができるよう市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。普通交付税と特別交付税があります。
- 市債** 市がする借金。世代間の負担の公平性を保つために道路や建物など長期にわたって市民が恩恵を受けるものを整備するときに活用します。
- 公債費** 事業を行うための借金(市債)を返済する経費です。

市の会計には、税金や国・県からの交付金・補助金、市債などを財源として、全般的な行政の経費を扱う「一般会計」と、特定の事業を進めるため、使用料など特定の収入を充てて独立した経理を行う「特別会計」「企業会計」があります。  
 これらの収入と支出を取りまとめた冊子が予算書と呼ばれるもので、市長が予算案を作成し、市議会がそれをチェック・審議して決定します。

## 特別会計・企業会計別の予算額

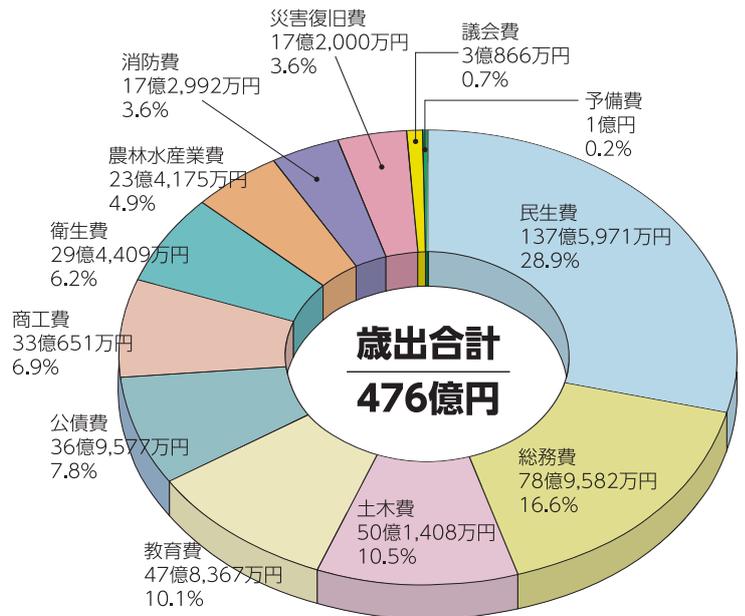
### 特別会計

区分	R3年度予算案	R2年度予算(当初)	伸率(%)
国民健康保険事業(事業勘定)	87億2,400万円	89億5,000万円	△ 2.5
国民健康保険事業(直診勘定)	4億8,310万円	4億7,350万円	2.0
地方卸売市場事業	2,790万円	2,860万円	△ 2.4
学校給食費	3億8,770万円	3億9,580万円	△ 2.0
介護保険事業	96億5,140万円	96億2,030万円	0.3
観光施設事業	2億9,420万円	1億1,940万円	146.4
後期高齢者医療事業	13億1,900万円	13億3,900万円	△ 1.5
合計	208億8,730万円	209億2,660万円	△ 0.2

### 企業会計

区分	R3年度予算案	R2年度予算(当初)	伸率(%)
水道事業	34億7,900万円	34億9,400万円	△ 0.4
下水道事業	60億1,707万円	58億5,660万円	2.7
合計	94億9,607万円	93億5,060万円	1.6

## 歳出



● 予算の編成過程を公開中です  
 市ホームページ(広報ID1013091)、市民コーナー(本庁1階)、各支所で閲覧できます。

経済の回復に引き続き取り組むとともに、ポストコロナ社会を前提とした中・長期的な視点による「成長戦略」として、力強い経済の発展や豊かな暮らしの実現、活力ある地域の創出やDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進に取り組みます。

総合計画に掲げる各種施策の着実な推進を図りつつ、年度途中において必要とされる臨時・緊急的な感染症対策については、補正予算等により適時・適切に対応していきます。